

A B r i e f N o t e No. 210

発行日：2011年8月4日

身延の田舎暮らし（その1：全体編）

山梨県南巨摩郡身延町 齋藤 剛伸

I、田舎暮らしのいきさつ

さて、この度、長年住み慣れた東京都日野市から山梨県の身延町(みのぶ町)へ移住し田舎暮らしをすることになりました。この身延町は、日蓮宗の総本山のある身延山（標高1500m）、下部温泉、本栖湖、富士川下りで有名な町です。私はあいにく宗教には縁のない人間です。人口は約1万6千人です。

思えば企業戦士として長年、都心との往復に多大な時間を費やし、その後は企業OBとして日野市・八王子市の市民活動支援機関のスタッフで市民活動の勉強を通じて地域を知り、市の産業政策課の依頼で中小企業経営者に対する経営改善支援等のボランティア活動を行っていました。この活動は八王子市や八王子商工会議所が支援しているボランティア団体「サイバーシルクロード八王子」の「ビジネスお助け隊」というコンサルタント集団により行われています。

また農業に関心を持ち、ボランティア活動と並行して、赤い桜で有名な長野県高遠町のふれあい農園（平成17年）、毎週土曜日に八王子市に圃場を持つ東京都農業実践セミナー（平成18、19年）に参加して野菜栽培の勉強を多少経験しました。田舎に呼び入れてくれる人(若者を導入して地元の遊休田畑を活性化する指導者)との縁があり、妻の賛同も得て、現地見学をしたりしていました。

平成23年1月、結果として私にとっての最後のボランティア活動となった活動が始まりました。それはビジネスお助け隊ボランティア仲間の地元出身者O氏が八王子市議会議員に立候補することになり、特に普段から付き合いのあった仲間10人と元企業経営者などで後援会を結成して応援することになりました。4月24日投票日までに定期的にミーティングを行い、重点地域を決めて説明資料をポスティングし、駅頭、スーパー店頭でビラ配り、多数の人に後援会に加入勧誘を行う等、仲間は仕事を持ちながら献身的な活動をしました。投票日前1か月間は土日休みなしの正に突貫プロジェクトでした。妻はあきれていました。仲間の献身的な活動により見事O氏は当選しました。この最後のボランティア活動で精魂を果て大変疲れましたが、価値あるうれしい思い出になりました。これで八王子におけるボランティア活動の最後の仕上げだなと感じました。いよいよ私のための活動として田舎暮らしをしようと思いに至りました。

私の時間は自分と妻、家族のために使う、出来るだけそうする様にしよう決めました。家族をないがしろにしてきたサラリーマン時代の反省です。これからは、肩の力を抜いてマイペースで暮らせれば良いなと思っています。年齢は取っていますが「第3の人生」のスタートです。

II、田舎暮らしのキーワード

私なりに次のようなキーワードを考えてみました。

- 古民家などに住んで田舎暮らしを楽しむ(都会暮らしよりかなり不便になる。情報遮断?)
- 農業を多少行い自分の自給自足生活をつくる(3年計画) (投資対効果の実験データを記録⇒農家経営改善を考慮してみる)
- 自然、温泉や名所を楽しむ (健康になるが頭がボケル?温泉の友が出来る?)
・ ・ 下部温泉があり約30軒あり。未だ入浴をしていませんが、楽しみ

・名所の身延山久遠い寺(日蓮宗総本山：宗教には興味なし)のしだれ桜は絶品

- 地域の活性化活動に参加し出来る範囲で支援する(上記の指導者を支援)
(田畑が30~40%遊休、高齢化で後継者なし。日本の自給自足率が低下中。
 - 活性化のための楽しいビジネスプランを政策し若者を呼び入れる。
 - (田舎の役場には農業立て直しに真剣に取り組んでいるかが感じられない)

Ⅲ、田舎暮らしの中心が農業

縁があって知り合った指導者(立川でお会いしたのが縁)がボランティアで特に若者を受け入れて農業を指導しています。「古民家おおくぼ」の館主でNPO法人「えがおつなげて」(山梨県全域)の幹部で、一つの地域である富士川町、身延町一帯を担当しています。今回は特別に「老人」?を指導してくれます。

(1) 生活拠点は当面は古民家

本来の農業拠点の獲得に時間がかかるため、当面は古民家で暮らすことにしました。約100年くらい経っているようです。主要な柱や横木が太く昔のままで、木を彫って組み合わせてあり頑丈です。玄関や縁側は広く設計されていますが、部分各々、台所、風呂場、トイレ(水洗)はその都度リフォームされています。和室座敷の畳は一部、起伏があり、床が抜けないように?歩いています。

実際よりも写真では綺麗に写っているようです。7LDKに妻と2人で住んでいます。風通しよし。

生活面では大手スーパーは車で約15分、銀行・病院・役所は車で10分、郵便局、コンビニや「ゆばの里(小さい道の駅)は約1~2分かかります。

ここでは民宿の気分で暮らしています。借用している田んぼは、車で1分(徒歩5分)、畑は車で5分(徒歩25分)のところにあります。田畑に行くのが私の仕事です。



●古民家

(2) 田植えから始める

・5月23、24日は田植えをしました。曇り&小雨。引っ越し前で忙しかった。

10アール(約300坪)です。「コシヒカリ」が約100キロ以上収穫予定です。素人ですから上手くいけばの話です。山から湧き出るきれいな「水」で作ります、おいしいお米ができるそうです。



●田植え 私と仲間(右から2人目)



●田んぼ

田植えは指導者が地域の仲間を動員して応援をしてくださいました。翌週からは「田んぼの水の管理」と雑草取りが始まります。

「水管理」は大変な仕事でした。夜間は田に注水し朝は止めて昼間温めます。これをほぼ毎日行います。2年間休田だったため、吸水されて田の土が現れることが多く発生し、都度穴や水が浸み込む箇所を発見して修理するのが大変で油断が出来ません。あげくのはては「もぐら」に穴を開けられる時があります。特に大変だったことは「シカ」が頻繁に出現することです。シカは、折角出た若葉の先を食べたり、また食べちぎって稲の根っこを抜いてしまいます。朝一番に田に出て「シカの足跡」を発見した時はがっかりです。稲の成長途中では害虫が付着したり病気になりますので、その発見と予防が大変です。現在は町役場で田んぼ周辺をシカよけ鉄網で囲ってくださいました。稲が再生して成長しています。また近所の農家のオジサンもいろいろ教えてくれます。



●稲(53日後)

(3) 待望の「あけぼの大豆」を植える

- ・畑の広さは、20アール(600坪)あります。既にジャガイモやサトイモを植えています。ジャガイモは既に収穫期に入っています。自然栽培ですから「甘くておいしい」です。ジャガイモは2アールの畑一杯に植えました。雑草取りが、これまた大変です。収穫量はとんでもない量です!
- ・6月23日に「あけぼの大豆」の種まきを行いました。この大豆は、身延町では「まぼろし大豆」で粒が大きく栗のように甘く美味しい大豆です。特産物です。皆様にもおすすめです。農業インターンや近所の人を動員してもらい5、6人で種豆を蒔きました。午前中にアッという間に終了しました。目が出ないものがあるため補植用豆も植えました。生産予定量はあけぼの大豆約120キロです。



●私と仲間(7月14日)



●種豆植え後20日

- ・・・10月中旬に枝豆(これが最高に美味しい)、
- 12月に大豆として収穫予定(煮豆も最高)、
- 1月、2月に味噌作り

カラス、鳥に豆を食べられない工夫をします。また、成長後はイノシシ、サル対応が必要です。周囲に防
御網を敷設し電気を通じました。費用は約40万円ですが、役所より80%の助成が出ます。
7月14日には20cmに成長し、畝お越しと雑草駆除を行いました。



●32日後(周辺農家より良く成長)

IV、身延山と桜、そばやと温泉

- 一番おいしいそばや「あずみの」を見つけました。
- 町有温泉「門野の湯」は車で5分の近くにあり、70歳以上は無料です。私はまだ税金を納めていま
せんが毎週無料で入浴させてもらっています。40°Cと37°Cの2つの湯船があり、交互にゆっ
くりと入浴しています。町・村では湯船が情報交換の場となっています。
これとは別に下部温泉地区では民間の温泉が30軒あります。これから開拓し楽しむ予定です。



●そばや「あずみの」



●門野(かどの)の湯

- 身延山の「しだれ桜」は大変美しい。写真は今年4月24日に撮影したものです。



●身延山「しだれ桜」

以上